

書くことで、自分の中の「思考の小宇宙」を紡ぎ、新しい「自分」に気がつき発見することにつながっていきます。

私が、二学期で学んだことは二つあります。一つ目は、宿泊体験学習のことです。それは、何事も自分で考えて行動することが大切ということです。たしかに、始めは、先生に「ここは、どうするんですか。」と、聞いてばかりでした。けれども、後からはきちんと自分で「ここは、こうした方がいいかな。」と、考えられるようになりなりました。早く行動できるようになつてよかったです。さらに、みんなで協力して行動することも学びました。自分で考えて行動することは大事ですが、一人ではできないことは、たくさんあるからです。キャンプロファイヤーとそとのときの火文字は、国本教頭先生と20人で協力して準備し、成功させました。忘れられない思い出になりました。次の日のカヌー体験も面白かったです。四年生、楽しみにしてください。

二学期を振り返り、良かった点と改善が必要な点が、それぞれあります。良かった点の一つ目は、友達と様々な考えを出し合いながら学習をしたことです。自分の考えの他にどんなものがあるのか知り、自分の考えを広げることができました。特に算数の授業が印象に残っています。友達と一緒に学び合ったり教え合ったりしたからです。まっ同じ考えの人と自分たちの考えを比べて、確かめてから、次に違う考えの人とお互いの考えを説明し合いました。同じ問題でもいろいろな解き方があることに気付くことが



良かった点の一つ目は、たくさんさんの文章に触れたことです。家庭学習で、教科書に出てくる物語や、夏目漱石の「我が輩は猫である」などの文章を視写しました。視写は時間がかかり、決して楽ではありませんでした。しかし、間違つて覚えていた漢字の書き方や、心に残る文章を見つけることができました。冬休みにも取り組んでみたいと思います。

さすがだ「笑顔でぺこり」

昨年度から始まった全校交通安全運動「笑顔でぺこり」は、簡単なことであり難しいことでもあります。止まってくれる自動車にぺこりとお辞儀をして、にっこり笑顔をするだけです。ほんの数秒間です。でも、先週の校外須童会での二学期の振り返りを聞いてみると、10人に1人の割合でできていませんでした。どうしてでしょうか。

朝の校門前の信号機のところで、左と右に止まっている車にそれぞれお辞儀をする姿は、「さすがだ」です。運転をする大人も「気を付けて行こう」という気持ちが、体の中からわき上がります。私も感じたことですから。みなさん一人一人のしたことが、次の人、その次の人に伝わっていくんです。これも前にお話した「ありがとう贈り」の一つです。須田小以外にも広がってほしいです。

今月号の学校だよりの、6名の学年代表の作文は、どれも「自分の得意を伸ばし、それを誰かのために生かす」さすがだの心を超え、苦手なことに挑戦し自分の成長を実感した姿も浮かび上がってきます。作文を読んだ人が「私も」と思って挑戦すれば、やっぱり「さすがだ」が贈られています。

交通安全は、今の90点ではだめです。いつも100点でなければ意味がありません。消しゴムで間違いを直すことができるペーパーテストとは違います。恥ずかしい？ 恥ずかしくてもするんです。面倒くさい？ 面倒くさくてもするんです。みなさんのずーっと心の奥にしまい込んでしまった大切なことを思い出してほしいです。どうして、この「笑顔でぺこり」をするのか、を。

この文章は、2学期の終業式の話の一部です。須田小の96名の子供たちが楽しい冬休みを過ごし、希望に溢れた3学期を過ごすために、どうか家庭でもお話をお願いします。

【各種コンクール】

- ◆中越美術教育展
 - 特選 1年
 - 特選 6年
- ◆青少年読書感想文全国コンクール
 - 優秀賞 1年
 - ※作品は1月号に掲載します。
- ◆県児童生徒科学研究発表会
 - 奨励賞 5年



須田っ子全員に「がんばり賞」

今学期もたくさん本を読みましたね。そんなみなさんに「がんばり賞」です。来学期もたくさん本を読んで、新しい自分を発見しましょう！

- ◆累積読書冊数 約7400冊(12/20)
- ◆目標読書量 約65%の児童が達成
(低：100冊 中：60冊 高：40冊)



書くことで
気がつき
発見する

二学期の反省と来年に向けて

二学期の終業式の際に、子供たちが発表する作文です。一年生は、文章の量も増えましたし、お話を内容のまとまりを考えた作文です。この外、それぞれの子供たちの大きな成長の跡をお読みください。

一年

ぼくは、二学期のはじめに、えんぴつを正しくもつ、おはなしを立てまきく、というめあてを立てました。えんぴつのもちかたは、字をかきはじめるまえに、じぶんの手を見て、正しいもちかたになるように気をつけました。でも、はじめはよくても、気がつくと、もちかたがかわってしまふことがありません。だから、

これからもえんぴつのもちかたに気をつけていこうとおもいます。

おはなしのききかたは、はなしている人を見てきくことに気をつけました。じょうずにきけるようになったとおもいます。

ふゆ休みには、おうちでは、なわとびのれんしゅうをいっばいしたいです。そして、二じゅうとびが十かいてできるようにがんばりたいです。

二年

二学期、わたしは、音読が上手になりました。これからは、まい日、れんしゅうをがんばりたいです。冬休みにがんばりたいことは、かけ算の九九のれんしゅうです。まだバラバラのじゅんばんで九九をいうところまでできていません。それで、冬休み中は、まい日れんしゅうをして、三学期のしぎょうしきの日

いです。

三年

ぼくが、自分なりにがんばれたと思うことは、マラソン大会です。今年、練習の時から順位は大体よかったのですが、ペイスが上がったり下がったりして、同じにならなかったりで、なつとくく練習ではありませんでした。

いよいよ本番の日、うまうま走れるかな、ころんたらどうしようと思っていました。でも、そんなことはなく、しっかりと走ることができました。順位は、練習の時よりも悪かったのですが、ぼくは同じペースで走り続けるということをめあてにしていたので、自分なりにがんばったと思いました。

このように、練習でいっばい失敗したからこそ、本番では同じペースで走りきれたのだと思います。

これが、ぼくが二学期に成長できたことです。

四年

わたしは成長したことは、学習をする習慣ががしかり身に付いたこと、読書を通して語力が付いたことです。まず、学習をする習慣が

すっかり身に付いたことです。二学期は学習ドリルを毎日こつこつ計画的にすること、をがんばりました。それで、学期の終わりにあわせてやることもなくなつて、二度三度とゆとりをもつて取り組むことができました。ドリルでしっかりと復習に取り組んだので、じゅ業にもより集中できるようにになりました。二学期を通して、計画を立て、それを実行する力も付いたと思います。

次は語力が付いたことです。二学期は一学期よりもたくさん本を読むようになりました。かきかき本の種類もふえて、いろいろな言葉を知ることができ、まだ習っていない漢字でも、文字の形などからおぼえられるようになりました。また、文章の量が多くなつても集中して読めるようになりなりました。絵が入つてなくとも内容が分からないということがなくなりました。たとえば、小説のように書かれています。伝記を読むことで、れきしも学べたり長文にもなれることができて、一石二鳥でした。このように、私の成長したことは、学習習慣と語力が付いたことで、集中して取り組むことができるようになったことです。